

# 沖地ネット



## “沖地ネットとうや～ちゃ～さび～がや～さい”

ハイサイグ巣～よ～オ ちゅうウがまビラ、わんね～じら～んちいやびいん～ワ  
ン値～字～カチュ瀬～、ウマリ手ハジみてい恥じ未定ヤイビ～愚等くね～てい組み  
瀬～ぶり。

沖縄県地域づくりネットワークに参加して 10 数年、地元沖縄を始め全国の地域の  
方々より、ナラタルくとうぐとうぬカジカジ「研修交流会を体感して来た事を」ヒ  
ヤミカチ、カチャビーン。

### ※ネットワーク（網状組織）の力

沖地ネット情報誌、地域活性化センター発行の地域づくり情報誌、『全国地域活性化の為の月刊情報誌』  
の配布。平成 26 年 12 月現在『通巻 305 号』。約 3,600 の取り組み事例、全国の地域づくりの仲間から届  
く情報雑誌、手紙やハガキによる配信、インターネットによる発信、受信など地域活性の情報は膨大な  
数だと思う。其の情報をどのように活用して沖地ネットの会員相互で活かして行くかが沖地主催の研修  
交流会への行政や民間団体会員の参加数低迷の現状を打開するひとつの鍵だと考える。しかし、SNS、  
LINE、ブログなどのインターネットサービスを主としたパソコン、スマホなどだけの媒介ではなく、  
沖縄式網状組織、県行政と市町村行政、地域と地域、人と人を結んだ網で各地域の宝者や宝物を活かして  
こそが【芯】の地域づくりを考える組織と思う。沖地運営委員と県担当者との網方交流会を網を広げて  
市町村、広域圏事務組合などの関係者を含めた交流会を県主催で是が非でも開催すべきだと考える。  
【ジラ～竜うわ～倍グとう 原稿 やいび～ん 祭。】4649 お願いします。

### ※伊計島の十一班の理念

壱⇒島に存在する班の次は十一班である。基本には島外で暮らしている島育ちの人達が班員だが、  
あがいびすくが好きで班長が認めた者は班員になれる。

貳⇒班員は班が参加する催しには出来る限り参加する。

参⇒島の特産品を宣伝したり、販売促進に協力する。

伊計島の十一班 島袋 次郎

注)文章は本人の意向により原文のまま転記しています

## 活動・事業案内

シマおこし研修交流会(北中城編)を 11 月 15 日に、北中城村大城地区の『スージグワー美術館』の開催に合  
わて実施しました。参加者は全員で 13 名と少なかったのですが、花咲翁会会長が直々にガイドして下さいとて  
も有意義に過ごせました。また、交流会場の『峠の茶屋』では地産地消に対するこだわりをオーナーにお話しし  
ていただきました。料理も大満足でした。

さて、年が明けて 1 月 30 日(金)に「地域づくり人材ネットワーク  
シンポジウム」の開催を予定しています。詳細は web やメールで配信して  
いきますのでそちらもご覧ください。

日 時：2015 年 1 月 30 日(金) 14:00～17:30

会 場：沖縄産業支援センター1F (那覇市小祿)

参加費：無料

定 員：50 名

詳細は事務局までお問い合わせください。

【未定稿】

地域づくり人材ネットワークシンポジウム

～今、地域が自ら元気を創生するために～

平成 27 年 1 月 30 日(金)  
14:00～16:30(受付:13:30～)

沖縄産業支援センターホール  
〒900-0001 那覇市小祿 1-1-1  
主催：沖縄県地域づくりネットワーク  
協賛：伊計島

■開会挨拶 14:00～14:10  
【開会】 伊計島 島袋 次郎

■地域づくり事例発表 14:10～15:10 (5 名発表)  
島袋 次郎 伊計島 伊計島 伊計島 伊計島 伊計島  
伊計島 伊計島 伊計島 伊計島 伊計島

■地域経済政策 観光振興と交流  
伊計島 伊計島 伊計島 伊計島 伊計島  
伊計島 伊計島 伊計島 伊計島 伊計島

【午後の自由席】  
【閉会挨拶】 伊計島 伊計島 伊計島 伊計島 伊計島

■本 体 15:40～15:50  
■質疑応答・質疑応答等 15:50～16:00  
■閉会 16:30～16:30

□交通費 往：0円(交通費は別途お持ち帰りします)  
帰：0円(交通費は別途お持ち帰りします)

●お問い合わせは事務局まで(〒900-0001 那覇市小祿 1-1-1 伊計島 伊計島 伊計島 伊計島 伊計島)

## 行政活動紹介

こんにちは！

この度は沖地ネット12月号に寄稿のご機会を頂き、誠にありがとうございます。

2015年は琉球王朝第二尚氏王統、伊是名島出身の「尚円王」の生誕600周年になります。伊是名村では、既存の年間事業、過去に行われたイベント等を掘り起こし、冠を設け、1年間通して事業を行っていきます。具体的な例を挙げますと、島人が主体となり、尚円王が伊是名島から旅立ち、王に即位するまでを劇にした、史劇「尚円王～松金がゆく～」(平成20年過疎地域自立活性化優良事例総務大臣賞受賞)、尚円王の波乱な生涯を壮大なドラマとして蘇らせた民族音楽史曲「尚円」、8月14、15、16日には伊是名島にて尚円王生誕祭のメイン事業等を行います。

また、伊是名島には古くから伝わる王家の歴史、伝統、地域のおもてなしの文化、そして何より、島人ならではの”パワー”があります。私たち伊是名島は、事業を行う際、島人1人1人が主役という意識の元、島内在住の島人、島から巣立った島人全員がチームとして協力し合い、取り組みます。

これらの貴重な財産を基に、私たち伊是名島は、地域活性化を図り、交流人口の増加、更には将来人口の維持、増加に繋がりたいと考えております。

社会は人口減少、少子高齢社会となっておりますが、伊是名島に関わる方々、全世代が一体となって力を発揮し、地方から底上げを行っていきたいと思います。

来年は是非、伊是名島にお越し頂き、一緒に交流を図りませんか？是非、ネットワークを拡げ、共に沖縄を盛り上げていきましょう！



尚円王生誕600年祭  
実行委員会事務局  
伊是名村役場  
企画政策課  
主事 大野 耕太

## 民間活動紹介

『「かりゆし塾」は、地域独特の産業・文化を振興して、国際社会に真に誇り得る自主自立の活力ある地域づくりを、そして21世紀の新しいふるさと沖縄をつくる為に、豊かな感性を持ち、着実に成果をあげていける有為な人材を育成することを目的とする。』(平成13年9月発行同窓生記念誌)として、沖縄県経営者協会主催で平成2年5月に開塾しました。

以後、県内企業や市町村自治体、商工会、農協等の「官」「民」職員毎年約60余名が「異業種交流」の中で受講、平成6年には卒業生が300人余となり、翌年1月に、『「かりゆし塾同窓会」は、自主、自立の精神に基づき、塾生相互間の親睦及び情報の交換を図り、かつ地域づくりに寄与することを目的とする。』(同記念誌)で、同窓会が発足しました。

地域づくりリーダー養成して25年を迎えた今日、会員は1300余人となり、講演会や研修会を開催、また、同窓会員のネットワークを拡充するために同窓生名簿を発行するなどしています。同窓生には、地域で活躍している首長、自治体議会議員や企業経営者も多く所属しています。

また、平成18年2月に開催された、「第23回地域づくり団体 全国研修交流会 沖縄大会」の「前夜祭」を同窓会で担当するなどした。平成21年に、20周年記念式典、平成26年8月には25周年記念講演会を開催するなどして会員相互の親睦を図るなどしています。

かりゆし塾同窓会  
新里 徳三

